

依存症支援について

山本地域振興局福祉環境部 企画福祉課

1 目的

依存症問題を有する者への対応については、周囲の理解と支援者の継続的な関わりが重要となるが、関係機関同士の連携体制が整備されていないことや当事者及びその家族が支援に必要な情報が十分に得られていないことで支援機関による介入に難色を示すなどにより、当事者やその家族が適切な医療や支援を受けられていないことが多い。

当事者及びその家族を医療と支援につなげ、当事者等が安心して地域で暮らせるよう地域全体で依存症への理解を深め、関係機関が継続的に支援できる体制を構築する。

2 管内の現状（令和6年2月20日時点）

（1）依存症に関する相談件数

令和2年度 37件（10名）
令和3年度 22件（6名）
令和4年度 11件（5名）
令和5年度 7件（4名）

（2）アルコール依存症患者数

自立支援医療（精神通院）受給者	35人
精神障害者保健福祉手帳所持者	27人
医療保護入院者数（延べ、退院者含む）	13人

3 令和5年度の実績

（1）相談対応

当事者・家族等からの相談に対して必要な助言を行った。

（2）意見交換会

【開催】令和5年8月25日（金） 関係機関15名参加
【対象】市町、精神科医療機関、相談支援事業所、社会福祉協議会、福祉事務所、警察、消防等
【内容】依存症への対応状況及び地域課題を明らかにし、支援体制のあり方について検討した。

（3）普及啓発活動

【実施】令和5年10月21日（土） のしろ産業フェア2023
【対象】来場者約200人
【内容】依存症に関する基本的知識が掲載されたリーフレットを配布した。

（4）アルコール依存症に関する支援者向け研修会

【開催】令和6年2月22日（木） 関係機関20名参加
【対象】管内市町、精神科医療機関、相談支援事業所、社会福祉協議会、福祉事務所、警察、消防
【内容】講話「アルコール依存症の支援について～つながる支援・つなげる支援～」

アルコール依存症に対する具体的な支援方法、治療プログラム、関係機関の連携について、模擬ミーティングと対応事例の紹介等により理解を深めた。

講師：秋田回生会病院 精神保健福祉士 根田悠士氏 作業療法士 小野寺佑麻氏

4 課題

- ・相談件数が少なく、当地域の当事者及びその家族の支援ニーズの傾向が把握できていない。
- ・介入した当事者及びその家族との継続的な関係が構築できていない。
- ・地域住民や関係機関の依存症に対する理解が十分でない。
- ・関係機関同士の協力体制が未整備である。

5 令和6年度の取組

(1) 支援関係者へのアンケート調査

相談対応や困難ケースへの対応及び他機関との連携等の管内の状況について確認し、主なニーズの把握及びその対策について検討する。

(2) 相談対応と支援体制の充実

当事者・家族等の相談に引き続き対応し、必要に応じて回復プログラムを活用し継続して対応する。様々な方法により依存症相談についての情報発信を行う。

(3) 普及啓発活動

街頭キャンペーン、ホームページ、広報紙等を利用し、地域住民へ正しい知識の普及を行う。

(4) 研修会の開催

支援者向けの研修会を開催する。

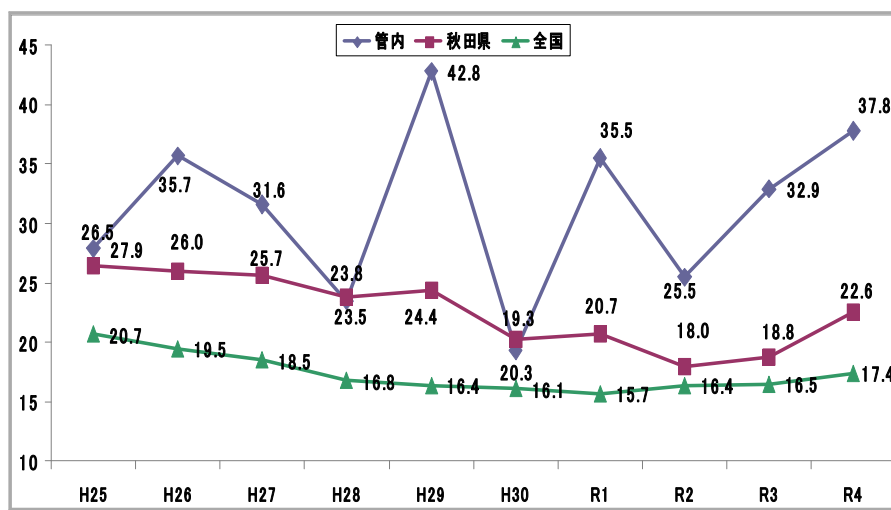
心の健康づくり・自殺予防対策の推進について

山本地域振興局福祉環境部 健康・予防課

1 現 状

管内の自殺率は増減はあるものの、国、県と比較して依然として高い数値となっている。令和4年の管内の自殺者数は27人、自殺率（人口10万対）は37.8で、前年より増加している。また、秋田県全体の自殺率（人口10万対）も22.6と増加しており、令和元年以来再び全国ワースト1位となった。

○自殺率の推移



2 事業内容

- (1) しらかみふれあいネットワーク会議 令和5年6月30日開催 24名出席
管内の民間及び行政の各団体・機関等50団体で構成され、各専門分野が地域の特性や実情にあわせた自殺対策を推進するために、協議・情報交換を行った。
- (2) 心の健康づくりボランティア交流会 令和5年11月8日開催 21名出席
ボランティア活動の強化と心のケアに関する事例検討及び意見交換を行った。
【対象者】心の健康づくりボランティア、市町担当者
【内 容】事例検討、グループワーク
- (3) 管内自殺予防担当者による意見交換会 令和5年5月31日開催 11名出席
【対象者】市町村担当者
【内 容】コロナ禍におけるボランティア育成上の課題について等
- (4) ゲートキーパー養成講座 令和5年10月23日実施 78名参加
自殺対策として、身近な人の心の変化に気づき、早期に支援機関につなぐことができるよう一般住民を対象に養成講座を実施した。
- (5) 自殺未遂者支援対策関係者会議 令和5年9月21日実施 44名出席
警察、消防、医療機関、社会福祉協議会、市町等関係機関で構成され、支援体制の構築や連携強化のための協議を行った。
- (6) しらかみふれあいネット通信 令和6年3月発行 48機関あて
関係機関（福祉、医療、経済、教育、民間団体等）へ送付した。

令和5年度不法投棄未然防止啓発活動事業の取組状況等について (能代山本クリーンプロジェクト協議会クリーンアップ事業)

山本地域振興局福祉環境部 環境指導課

1 趣旨及び目的

風かおる緑豊かな秋田を将来に継承するため、能代山本管内の不法投棄されている地域を、県民、関係団体、市町及び県が一体となってクリーンアップ活動を実施し、不法投棄に対する問題意識を共有するとともに、看板の設置や巡回監視により不法投棄の未然防止を図る。

2 実施日 令和5年10月20日(金) 9時15分から10時45分

3 場所 第1班 能代港中島釣り公園(中止)
第2班 旧海水浴場(北側砂防林内)ほか
第3班 能代市浅内(第3鉱さい堆積場)
※悪天候のため、作業安全面を考慮し、第1班は中止。

4 参加人数 25名

5 参加団体等 一般社団法人秋田県産業資源循環協会県北支部(能代・山本地区)
秋田県山本地域振興局(農林部、能代保健所(事務局))等
※一般ボランティアの参加も予定していたが、悪天候のため、関係機関のみで実施。

6 種類及び量 可燃ごみ 260 kg
不燃ごみ 40 kg
金属くず 20 kg
廃プラ類 120 kg
廃タイヤ 900 kg・18本(特殊2本、大型16本)
廃油 10 kg

7 撤去作業の様子

